（別紙4（2））

事業所名　グループホーム宝南の家

作成日：　平成　27年　　8月　15　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	室内での楽しみとして手作業、作品作りを提供しているが指先に集中してしまい利用者や職員同士の交流を持つことが限定されてしまっている。また手作業を楽しむ利用者はいつも同じ人になっている。	職員と利用者が楽しい時間を共有することで信頼関係を築きホームでの生活が意義のあるものになる。	職員や利用者同士の人間関係が良好で信頼関係が築けるようなコミュニケーションのツールとして懐かしい歌やゲームなど皆で楽しめるレクリエーションを増やしていく。	3ヶ月
2	10	地域での交流の多くは、参加者の立場やお客的な立場であり、主体的な社会での関わりが不足している。そのため地域との関係づくりは希薄になりがちで馴染みの関係が作りづらい。	利用者が社会の一員であるという意識が持てるように、自分の持っている能力を活かして、主体的に参加する。	地域でのゴミ拾いや地域行事の手伝いなどを職員と一緒に参加する。継続できる役割を見つける。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。